
第2期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

2020-2024
（令和2～6年度）

令和元年11月12日

■ 第 1 期における検証結果と第 2 期に向けて	2
■ 人口ビジョンの概要	3
■ 3 つの基本戦略の設定	8
■ 基本戦略別の体系・基本目標の設定・基本施策イメージ	1 0
・ 基本戦略Ⅰ：住みたい街	1 1
・ 基本戦略Ⅱ：働きたい街	1 3
・ 基本戦略Ⅲ：育てたい街	1 5

第1期における検証結果と第2期に向けて

- 2015年10月末に、人口ビジョンと総合戦略（目標体系）を策定し、毎年検証と報告を行ってきました。（戦略の改定は行っていない。）
- 第2期では、検証と報告を行った上で、戦略の改定や事業計画の変更を行っていきます。

第1期の検証結果

人口ビジョン

現状の特に「ライフステージごとの人口移動」に着目し、持続可能な社会を実現するための「15の観点」を設定のうえ、人口の展望を示した。

* 目標値と現状の実績に乖離が生じている。

戦略推進の結果

【達成できたKPI】

- ・ 観光客の市内での消費単価
- ・ 副業（小さな創業）の支援件数
- ・ 子育て世帯のふるさと定住促進制度の利用件数
- ・ 出産前後の相談件数
- ・ 空き家バンク登録数 など

【2018年末現在達成できていないKPI】

仕事が理由での転出者数
U I J ターンによる転入者数
ぶり奨学プログラムの新規登録者数
地域づくり協議会設置数 など



第2期に向けて

人口ビジョン

自然動態、社会動態についてより実態に近い仮定条件のもと分析を行い、目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を示す。

戦略推進

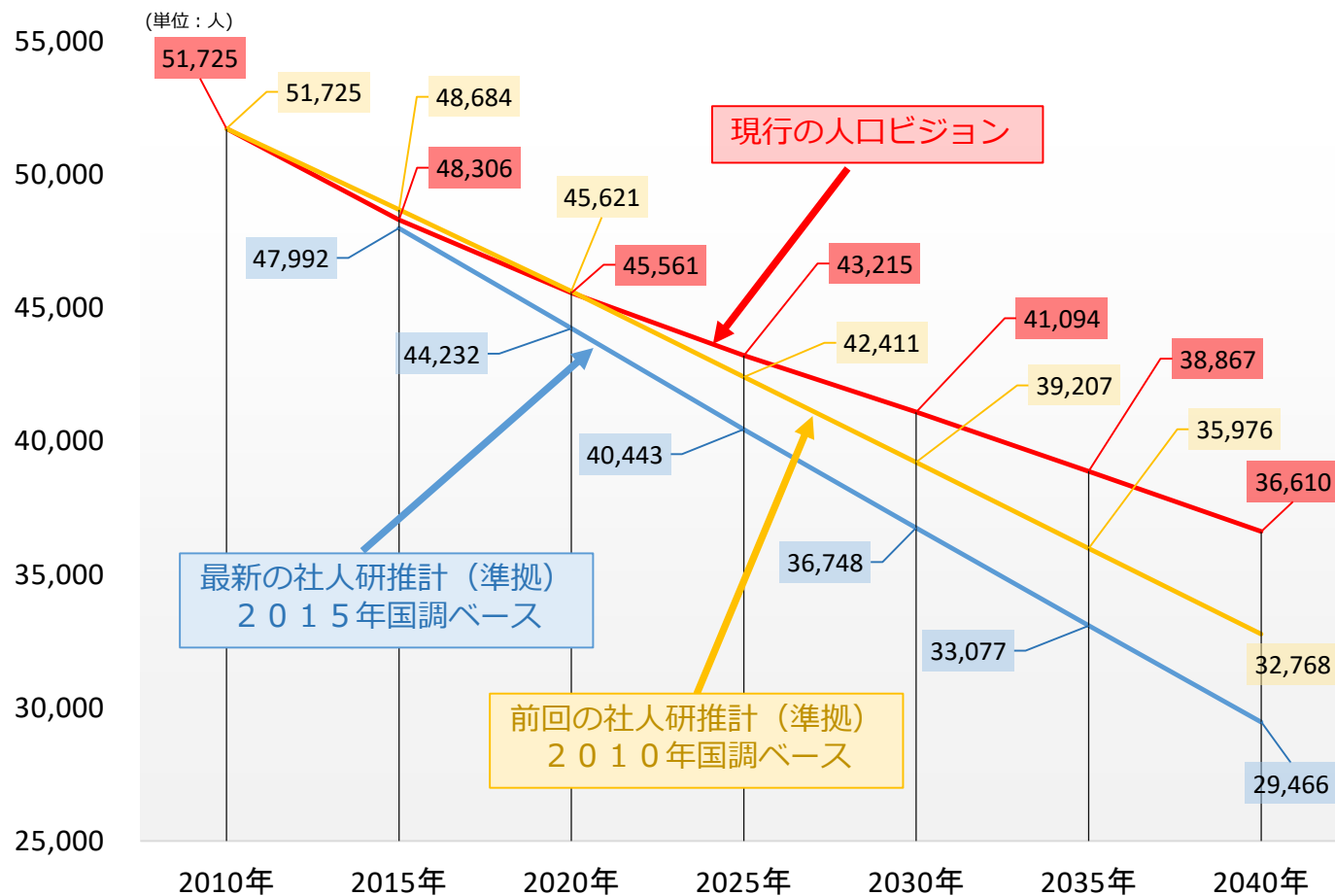
「ライフステージごとの人口移動」に着目した施策の立案にこだわらず、「積極戦略」と「調整戦略」を同時並行的に進めていく複眼的思考のもと策定を行う。

人口ビジョンの概要

第1期人口ビジョン

氷見市の将来人口について、最新の社会保障・人口問題研究所（社人研）推計（準拠）では前回の推計よりもさらに人口減少が加速化することが見込まれており、このため、第1期の人口ビジョンに掲げた目標値との乖離は年を経るごとに大きくなっています。

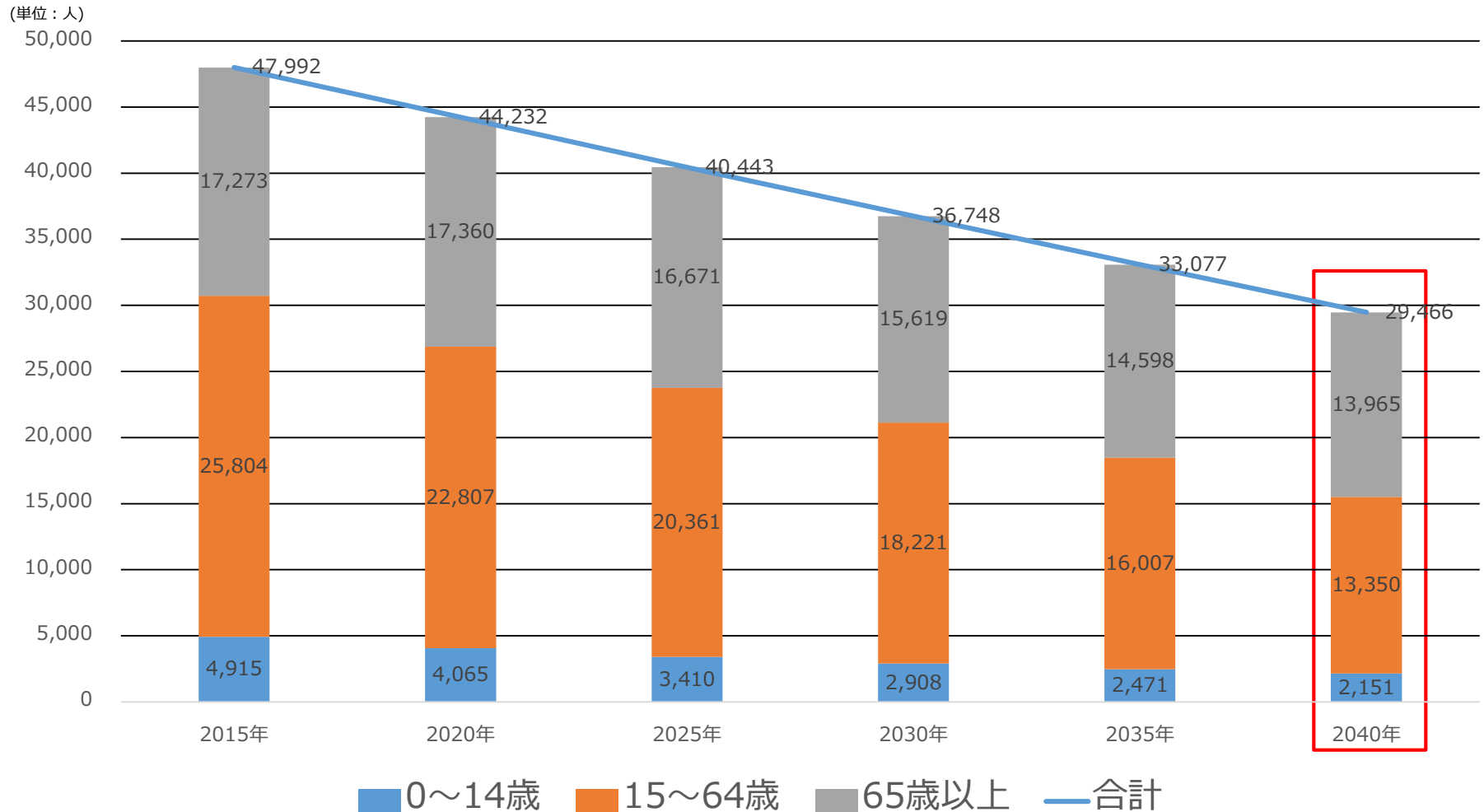
実際に、2015年（現行の人口ビジョン策定年）から2018年までの氷見市の人口の推移（富山県人口移動調査）をみても、人口減少のスピードは落ちていないことから、現行の戦略が十分な効果を発揮したとは言い難く、人口減少の要因も改善傾向にはないことが推測されます。



今後の年齢階級別人口構成の展望

社人研推計（近年の傾向が続いたと仮定）によると、本市の高齢化率は上昇を続け、2040年までに65歳以上人口が生産年齢(15～64歳)人口を上回る見込みです。

将来にわたり社会の活力を維持するためには、生産年齢人口及び若年人口を確保するとともに高齢者を含むあらゆる人々が活躍できる社会を作り出す必要があります。



第2期人口ビジョンにおける目標

第2期人口ビジョンの策定にあたっては、自然増減（出生数、死亡数）と社会増減（純移動率）の仮定を置き、将来の目標を示します。

＜過去の推移＞ 各年10月1日～9月30日（富山県人口移動調査）から

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	5年間の平均
自然増減	△478	△513	△522	△562	△542	△523.4
(出生数)	258	229	228	232	189	227.2
社会増減	△341	△186	△215	△203	△372	△263.4

＜第2期人口ビジョンにおける目標＞

		2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
自然増減	子ども女性比率 *15～49歳の女性人口に対する0～4歳人口の割合	0.177	0.168	0.169	0.202	0.235	0.257	0.266
				(参考 社人研) 0.169	(参考 社人研) 0.168	(参考 社人研) 0.174	(参考 社人研) 0.178	(参考 社人研) 0.178
	(参考) 合計特殊出生率	1.37	令和2年3月 公表予定	(以降推計) 1.25	1.49	1.68	1.81	1.87
	生残率			社人研準拠	社人研準拠	社人研準拠	社人研準拠	社人研準拠
社会増減	純移動率			△236	1/4改善	1/2改善	3/4改善	0

富山県の県民希望出生率 1.9

＜目標＞ ①年間出生数 230人の確保 ②2040年に社会増減の均衡 を目指す。

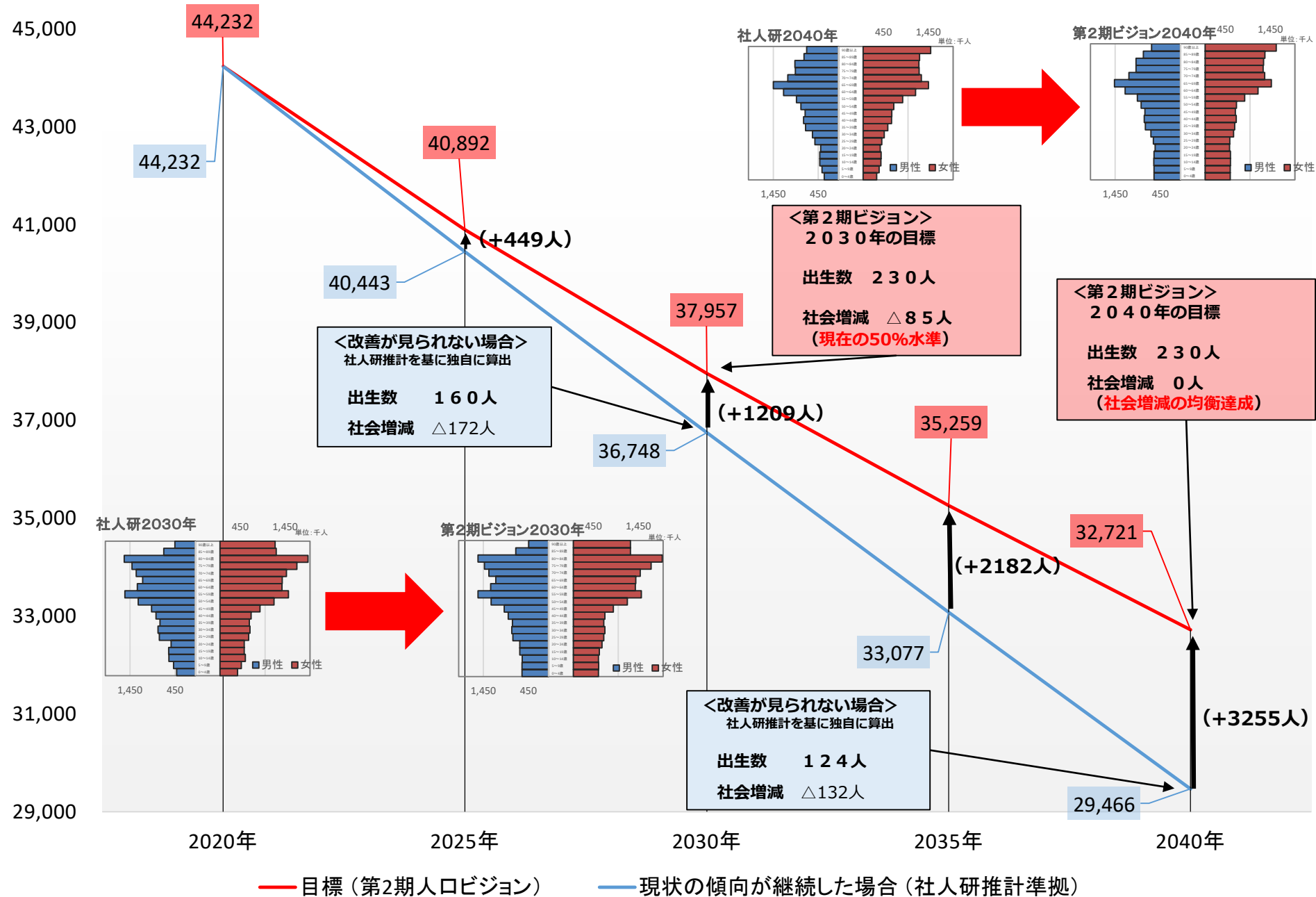
単位：人

		2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
出生数	2期ビジョン	228	230	230	230	230
	(参考)改善が見られない場合	228	188	160	141	124
社会増減	2期ビジョン	△236	△150	△85	△38	0
	(参考)改善が見られない場合	△236	△198	△172	△156	△132

* 改善が見られない場合の数値は、社人研推計を基に独自に算出

第2期人口ビジョンにおける目標

7



3つの基本戦略の設定

- 第2期では、地方創生を実現するための4つの基本目標から3つの基本戦略に変更しました。

【第1期】

基本目標Ⅰ

(安定した雇用を創出する)

氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす

基本目標Ⅱ

(新しいひとの流れをつくる)

「回遊する人材を定置網のように受け止めるまち氷見」を実現する

基本目標Ⅲ

(結婚・出産・子育ての希望をかなえる)

氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす

基本目標Ⅳ

(時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する)

暮らし続けられるまちを実現し、地域資源を効果的に活用した魅力的な地域社会を実現する

【第2期】

基本戦略Ⅰ

(住みたい街)
～いのちと暮らしを守る～

安心な暮らしを守ると共に時代に合った地域をつくり、「多様な人材を受け止めるまち氷見」を実現する

基本戦略Ⅱ

(働きたい街)
～働く場所の創出で元気な氷見市へ～

氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす

基本戦略Ⅲ

(育てたい街)
～ストップ・ザ・少子化～

氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす

基本戦略別の体系・基本目標の設定・ 基本施策イメージ

住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～

基本戦略Ⅰ

（住みたい街）

～いのちと暮らしを守る～

安心な暮らしを守ると共に時代
に合った地域をつくり、
「多様な人材を受け止めるま
ち氷見」を実現する

基本戦略Ⅱ

（働きたい街）

～働く場所の創出で元気な氷
見市へ～

氷見市の特色を活かし、時代
の流れに対応しながら魅力的
な雇用を増やす

基本戦略Ⅲ

（育てたい街）

～ストップ・ザ・少子化～

氷見での結婚・出産・子育て
を楽しみ、子どもの笑顔で満
ちあふれた家庭を増やす

基本戦略Ⅰの目標体系

■基本戦略Ⅰを達成するための「基本目標」と「基本施策」を設定しました。

<基本目標>

1. 安全で安心して暮らせる
基盤の充実

<基本施策>

- ①災害に強い社会の実現
- ②地域医療の充実
- ③地域包括ケアシステムの推進
- ④安全で安心な日常生活が送れるまちの実現

<主な施策>

- ・国土強靱化の推進
- ・災害情報等を的確に把握し住民に避難情報等を迅速かつ正確に届けられることができるシステムの構築
- ・消防広域化・南部地区出張所整備
- ・在宅医療・介護の連携によるネットワークの確立
- ・地域福祉活動サポーターの養成
- ・防犯カメラの設置
- ・鳥獣被害防止対策の推進

2. 持続可能な地域社会の体制・仕組みの確立

- ①小規模多機能自治の基盤整備と地域内分権の推進
- ②多様性を認め合える社会づくり
- ③交通弱者の移動手段の確保（自動運転車などを活用した地域交通の確保）
- ④Society5.0の実現に向けた技術の活用

- ・地域づくり協議会の設立支援と活動拠点の整備
- ・中山間地域における活動拠点としての廃校利用
- ・女性・高齢者・障がい者、外国人等が共生するまちづくり
- ・AI、IoT、5Gなどの未来技術を活用した具体的な地域課題の解決や地域活性化の促進
- ・地域課題を解決するためのデジタル人材の育成確保
- ・コミュニティビジネスへの取り組みに対する支援

3. 生き生きと暮らし続けるための健康的自立

- ①市民の健康意識の醸成（「自分の健康は自分自身でつくり、育てる」）
- ②運動習慣の定着による健康増進プログラムの推進
- ③地域づくりによる介護予防対策

- ・がん、生活習慣病等の健康診査受診の推進
- ・未病の改善活動の推進
- ・生活習慣改善健康合宿を通じた機運醸成
- ・氷見きときと健康ポイントの普及促進
- ・きときと100歳体操の推進
- ・住民主体の通いの場づくり

4. 若者・女性のふるさと氷見での定着と還流（Uターン）

- ①ふるさと氷見への郷土愛育成
- ②若者がいきいきと活躍できる地域づくり
- ③女性の定着・Uターン支援
- ④地方創生を支える人材・組織の育成

- ・幼児期～高校生のふるさと教育推進、親世代の郷土愛醸成
- ・若者の活躍の場、意見を反映、居場所、コミュニティづくり
- ・Uターン希望者のしごとと暮らしをセットで応援（JU応援センターの機能強化、県内企業とのマッチング、ビジネスサポートセンター、エリアマネージャーの活用による就業支援）
- ・ぶり奨学プログラムの継続、就職支援・PR強化
- ・定住マイホーム取得等補助制度の見直し
- ・農林水産の仕事の魅力を伝える場づくりと新規就業者支援
- ・NPO等中間支援組織の育成
- ・小中高生の起業家教育など探究型学習の推進

5. 「里山、里海での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住（I・Jターン）と多様な交流の実現

- ①氷見暮らしの魅力や充実した子育て・教育・福祉等の情報発信、体験機会の提供
- ②子育て世帯、起業人材、クリエイティブ人材などの移住・定住支援
- ③地域課題解決に資する多様な関係人口の創出・拡大
- ④スポーツ・芸術・文化等を通じた交流人口の拡大
- ⑤国際交流の推進

- ・氷見暮らしの魅力の情報発信強化（インスタグラム・ツイッターの活用）、体験機会の提供
- ・企業・大学等との連携の強化
- ・ワーキングホリデー、インターンシップの推進
- ・ふるさと納税の取り組み強化
- ・棚田等の地域資源を生かした交流促進
- ・春中ハンドの継続、スポーツ合宿誘致
- ・サイクルスポーツの魅力発信・サイクリングコース等の整備
- ・海外との姉妹都市・友好都市交流の推進

働きたい街

～働く場所の創出で元気な氷見市へ～

基本戦略Ⅰ

（住みたい街）

～いのちと暮らしを守る～

安心な暮らしを守ると共に時代に合った地域をつくり、「多様な人材を受け止めるまち氷見」を実現する

基本戦略Ⅱ

（働きたい街）

～働く場所の創出で元気な氷見市へ～

氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす

基本戦略Ⅲ

（育てたい街）

～ストップ・ザ・少子化～

氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす

基本戦略Ⅱの目標体系

■基本戦略Ⅱを達成するための「基本目標」と「基本施策」を設定しました。

＜基本目標＞

1. 氷見市の海・里・山の幸の魅力や、特性を活かした産業振興

＜基本施策＞

- ①新たな食の氷見ブランドの確立
- ②既存ブランドの販路拡大
- ③一次産業の6次産業化推進

＜主な施策＞

- ・新たな食のブランド（農業生産物、加工品）の開発支援
- ・既存ブランドの維持・販路拡大のための生産規模の拡大支援
- ・地域の特色ある農業の6次産業化促進
- ・学校給食での氷見産食材の活用
- ・環境にやさしい農業（オーガニック）の推進
- ・森林資源の活用促進
- ・他産業との連携による農林水産業の成長産業化

2. 氷見ならではの魅力・強みを生かした観光振興

- ①地域資源を生かした滞在型観光の推進
- ②インバウンドの招致

- ・農林水産業と観光産業との連携強化、農泊・体験型観光推進
- ・魚食文化の継承・発展
- ・日本農業遺産・世界農業遺産登録の推進
- ・食を活用した観光PRの実施と観光消費の喚起
- ・まんがを活用した観光客の誘致と滞在時間の延伸
- ・訪日外国人観光客の招致、多文化共生・日本語教育など地域への外国人受け入れ環境の整備
- ・海外へのプロモーションの実施

3. 氷見市内での経済活動の規模拡大

- ①地域内消費の促進
- ②まちなかの賑わい創出
- ③創業（事業継承）の支援
- ④既存企業の競争力強化

- ・市内食品加工業等による市内生産物の積極的な採用
- ・地域内商品券の販売促進
- ・エネルギーの地産地消の推進
- ・キャッシュレス決済の推進
- ・エリアマネジメントによる街中の賑わいの創出、アパルトマルシェの開催
- ・ビジネスサポートセンターの設置による創業（継業）のためのサポート体制の充実
- ・既存企業の生産性向上のための支援

4. 産業人材の確保・育成

- ①農林水産業・商工業の担い手の確保・育成
- ②働きがいを感じることができる魅力的なしごとの創出
- ③外国人が活躍する受入れ企業への支援
- ④就業に必要な技能習得への支援

- ・若者の1次産業への就業増加のための取り組みの実施
- ・創業にチャレンジできる機会の提供
- ・民間企業における女性を受け入れられる（女性が参入しやすい）労働環境の整備
- ・働き方改革の推進（市内企業への働きかけ）
- ・テレワークの活用推進、海浜植物園のリカレント施設の活用
- ・高齢者がいきいきと働き続けることができる仕組みづくり
- ・スマート化による省力化・生産性向上のための支援
- ・民間企業等における障がい者の活躍機会の増加
- ・外国人受け入れ企業への支援

5. 企業誘致の推進

- ①地元雇用に結びつく優良企業や研究機関等の誘致

- ・企業誘致活動の強化（災害に強い街、子育て・教育環境、市民性、企業立地支援制度等の情報発信など）
- ・サテライトオフィスの活用推進
- ・企業誘致に必要な用地の造成・インフラの整備
- ・能越自動車道IC周辺の利活用の促進

育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～

基本戦略Ⅰ

（住みたい街）

～いのちと暮らしを守る～

安心な暮らしを守ると共に時代に合った地域をつくり、「多様な人材を受け止めるまち氷見」を実現する

基本戦略Ⅱ

（働きたい街）

～働く場所の創出で元気な氷見市へ～

氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす

基本戦略Ⅲ

（育てたい街）

～ストップ・ザ・少子化～

氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす

基本戦略Ⅲの目標体系

■基本戦略Ⅲを達成するための「基本目標」と「基本施策」を設定しました。

＜基本目標＞

1. 結婚の希望をかなえ、子どもを中心として多様な家族が幸せを実感できる生活の実現

＜基本施策＞

- ①人生設計を考える機会の増加
- ②出逢いの場の創出による婚姻率の向上
- ③地域の応援・支援による未婚率の低減

＜主な施策＞

- ・結婚に関心を持ち人生設計を考える機会となるライフプランセミナーの開催
- ・未来をつくるライフプラン事業の推進（中学生・高校生対象）
- ・結婚についての意識啓発の取り組みの強化
- ・婚活イベント、セミナー等の開催による出逢いの場の創出と成婚への支援
- ・縁結びおせっかいさん事業の推進
- ・地域や企業・団体等で結婚を応援・支援する取り組みの推進

2. 妊娠・出産に関わる負担の軽減

- ①安心して出産できる環境の整備
- ②妊娠・出産に関わる経済的・精神的負担の軽減
- ③妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の推進

- ・産科医・小児科医の確保支援
- ・不妊相談の実施、不妊治療費の助成
- ・子ども・妊産婦医療費の助成、対象エリアの拡大
- ・出生祝（地域商品券）・木製玩具の贈呈
- ・子育て世代包括支援センターをワンストップ窓口とする支援体制の充実
- ・市と関係機関との連携強化

3. 多様な家族に対するきめ細やかな支援、子どもの健やかな成長を育む保育の充実

- ①子育てに関わる経済的・精神的負担の軽減
- ②子どもの生きる力を育成する保育・教育の充実

- ・第2子以降（1歳以上）保育料無償化（市）、家庭で子育て応援金給付（市）
- ・幼児教育・保育（3歳以上）の無償化（国）、給食費補助の上乗せ（市）
- ・保育士確保対策の推進
- ・医療機関との連携による病児保育の実施
- ・キッズサポートセンター（仮称）の設置
- ・食育の推進（きときとキッズ農業体験、料理教室など）
- ・木育の推進、木育拠点（海浜植物園）整備
- ・地域子育て支援センターの充実

4. 次代を担う子どもを育む学校教育の実現

- ①教育に関わる経済的負担の軽減
- ②子どもの生きる力を育成する学校教育の充実

- ・育英奨学事業の実施（氷見市育英資金の貸与）
- ・経済的に困難を抱える家庭への支援
- ・スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー等の配置による「心のケア」推進
- ・外国語教育・国際理解教育の推進
- ・プログラミングによる地域人材育成
- ・ICT環境の整備とICT教育の推進
- ・氷見をフィールドとして地域との関わりを生かした魅力的な教育機会を創出

5. 仕事と家庭の両立をしながら、子育てを楽しみと感じられる社会の実現

- ①子育てと両立するワークライフバランス（仕事と私生活の調和）の推進
- ②子どもが安心して遊び・学ぶことができる環境の整備
- ③職場と子育て支援施設の連携

- ・ワークライフバランスの実現に向けた取り組みの強化
- ・放課後子ども総合プランの推進
- ・子どもが安心して遊び・学べる場の整備（朝日山公園、海浜植物園、新文化交流施設等）
- ・通学時の安全確保対策の推進
- ・父親の家事・育児参加促進、育児休業の取得促進